



令和7年12月19日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画連携係	成瀬 門脇	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

関ヶ原研究会情報発信事業 山城シンポジウム「飛騨の山城・城館跡を掘る！」及び 山城パネル展「飛騨の山城・城館跡」の開催【参加者募集】

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）では、飛騨の山城・城館跡に注目し、近年、発掘調査で成果のあった高山市、飛騨市、下呂市の山城・城館跡を取り上げて山城シンポジウムを開催します。

また、本シンポジウムに合わせて、令和8年2月から3月まで飛騨における戦国時代の山城・城館跡の魅力と調査研究の最新成果などを紹介する山城パネル展を開催します。

記

1 山城シンポジウム「飛騨の山城・城館跡を掘る！」

日 時 令和8年2月8日（日）10時30分～15時30分（開場9時45分）
会 場 関ヶ原ふれあいセンター大ホール（不破郡関ヶ原町関ヶ原894-29）
定 員 400名（先着順）
参 加 費 無料

内 容 ○午前の部 基調講演「飛騨の山城・城館跡を掘る！」

講 師 滋賀県立大学名誉教授 ^{なかい ひとし} 中井 均 氏

時 間 10時30分～12時

内 容 全国で多くの山城の発掘調査に関わる中井均氏が、自らも発掘調査に参加した飛騨の山城・城館跡を取り上げ、発掘調査で得られた成果と「飛騨の山城」について解説します。

○午後の部 リレー報告「飛騨の山城・城館跡の発掘調査と成果」

時 間 13時～15時30分

内 容 近年発掘調査が行われ、大きな成果を上げている飛騨の山城・城館跡について、歴史や構造はもちろん、発掘調査で得られた最新情報を、各自治体の担当者らが現場ならではの視点で報告します。

①演 題 ^{まつくらじょうあと} 松倉城跡

報 告 者 高山市教育委員会文化財課 ^{おしい まさゆき} 押井 正行 氏

②演 題 ^{え ま し じょうかんあと} 江馬氏城館跡

報 告 者 飛騨市教育委員会文化振興課 ^{ほとに り ほ} 保谷 里歩 氏

③演 題 ^{さくらばらじょうあと} 桜洞城跡、^{はざわら す わ じょうあと} 萩原諏訪城跡

報 告 者 下呂市教育委員会文化財課・馬場 ^{ぼ ぼ しんいちろう} 伸一郎 氏

④総 評 滋賀県立大学名誉教授 中井 均 氏

※報告の順番は前後する場合があります。

応募期間 令和8年2月1日（日）まで

※往復はがきで応募の場合は1月30日（金）必着

応募方法 記念館公式HPの応募フォームまたは往復はがきにてお申込みください。

(<https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p8007/>)

※先着順で定員に達し次第、応募を締め切ります。

往復はがき送付先

〒503-1501 不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55

岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係「山城シンポジウム」 担当者宛

※郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、申込人数（1枚につき2名まで）を明記してください。

※申込人数が2人の場合は、2人目の氏名（ふりがな）も明記してください。

2 山城パネル展「飛驒の山城・城館跡」

期 間 令和8年2月3日（火）～3月29日（日）

会 場 記念館1階広域観光情報コーナー（不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55）

入 場 無料 ※広域観光情報コーナーは無料のエリアです。

内 容 飛驒地域の高山市、飛驒市、下呂市にある山城・城館跡について、最新の発掘成果などをパネルで紹介します。

【基調講演 講師紹介】

滋賀県立大学名誉教授 中井 均

（経歴）

1955年大阪府生まれ。龍谷大学文学部史学科卒業。

専門分野は日本考古学、主に中・近世城郭や近世大名墓を研究。米原市教育委員会、長浜市歴史博物館館長、滋賀県立大学教授を経て、現在は滋賀県立大学名誉教授、日本城郭協会評議員。

（著書）

『秀吉と家臣団の城』（角川選書）、『織田・豊臣城郭の構造と展開』上・下（戎光祥出版）『ハンドブック 日本の城』『城館調査の手引き』（山川出版社）、『近江の城：城が語る湖国の戦国史』（サンライズ出版）など多数。



【関ヶ原研究会の概要】

○目 的 関ヶ原に関連する研究状況の発信、若手研究者の支援等を通じて関ヶ原研究を促進し、調査研究フィールドや観光地としての関ヶ原古戦場の魅力や関心を高める

○設立日 令和5年10月14日

○会 長 小和田哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館館長

○会 員 関ヶ原に関連する研究実績のある者（大学教授、歴史研究家、博物館学芸員等）

○内 容 関ヶ原研究の活性化に向けた各種取組みを実施

①関ヶ原関連研究に関する情報発信

関ヶ原関連の最新研究状況・成果等を広く発信する講演会、討論会の実施

②若手研究者の育成支援

関ヶ原研究若手研究者支援事業や若手研究者への研究発表機会の提供等の実施

③学芸員ネットワークの形成

関ヶ原の戦いに関連する博物館等の学芸員における研究状況や展示、収蔵品等に関する情報交換の実施

④関ヶ原研究への興味・関心の向上に向けた活動